

平成 28 年度 第 3 回北杜市健康づくり推進協議会会議録

- 1 審議会等会議の名称：第 3 回北杜市健康づくり推進協議会
- 2 開催日時：平成 29 年 2 月 1 日（水）午後 3 時から午後 5 時 30 分
- 3 開催場所：北杜市役所 西会議室
- 4 公開・非公開の別：公開
- 5 傍聴人の人数：0 人
- 6 議 事
 - (1) 第 2 次北杜市健康増進計画中間評価（案）について
 - (2) 子宮頸がん検診について
 - (3) その他
- 7 出席者 委員 10 名
吉田和徳 津金永二 若林修子 浅川敬子 桜井ひろみ 小林忠雄
齊藤加代子 萩原英二 坂本正輝 船木奈巳

事務局 7 名
平井光 市民部長 浅川辰江 健康増進課長 中田はるみ 指導監
企画予防担当 輿水 秀子 堀内真理子
保健指導担当 浅川享子 中田貴美子
- 8 欠席者 4 名 功刀孝次郎 丸茂哲雄 船木良 原かつみ
- 9 署名録委員 若林修子 浅川敬子

(1) 第 2 次北杜市健康増進計画中間評価（案）について

（第 2 回健康づくり推進協議会からの経過報告）

【事務局】 前回の健康づくり推進協議会におきまして委員の皆様へ「第 2 次北杜市健康増進計画中間評価（案）」の素案を基に、ワーキングをしていただきながら、平成 33 年度までの方向性に対する意見・感想・気づきなど貴重なご意見を頂戴しました。

その際の内容としまして、子ども期では、1 点目として「楽しい子育てをしよう」という重点目標がありますが、この取り組み指標項目の中に、「子育てが楽しいと感じる人の割合」があります。「子育ての楽しさ」という点では、今後の支援をしていくためにどの辺りを確認したいかなどを明らかにしていくとよいこと。また、子育ての最中は、一生懸命で楽しさを問われる際に楽しい時があれば、そうでない時もある。充実感や不安感など、いろいろな思いを感じながらもがんばれるような視点として、相談相手のことを含め評価してみても、どうか。2 点目として、学童期の朝食・野菜の摂取状況に関して、もう少しデータがあるとよいのではないかと。この点に関しましては、PTAを中心に学校でも取り組みをしていることなどの情報提供をいただきました。健康増進課としては、主に乳幼児へのかかわりになるものの、学校を含めて情報を把握していくことで食育の推進など今後の取り組みへの参考材料になるのではないかと。これからの積み重ねという点では、指標は難しいかもしれないがコメントとしての考察を今後検討してみてもどうかなどです。

青年期・実年期・高齢期では、1 点目として、健康診査の項目において、腎臓の働きの様子を確認する項目に「クレアチニン」や「eGFR」の検査項目が追加されました。透析患者が多いなどの背景から、塩分摂取量のこと、腎臓の機能のことなど市民が考え生活習慣を見直すといった点で、よい取り組みであるとの意見を頂戴しました。付随して、受診後の保健指導をきちんと受けることの重要性について再確認されたところです。2 点目として働き盛りの世代の受診率向上についてです。40 歳を過ぎたら、やはり健康診断は必要であること。受診者数を増やすことの難しさや受診状況調査票の提出状況に関してご意見を頂戴しました。受診者数を増やすことへの取り組みとしては、年度で地区を決めて取り組んでみてはどうか。また、地域の役員の方や組織への働きかけを含めて集中して実施していくことが効果的ではないか。デリケートな問題になってしまうが、受診後、病気が発見されてからの身近な体験談などがあると健診を受けることの重要性が口コミで広がるのではないかと。3 点目として食塩に関すること。食生活改善推進委員会の塩分測定活動の取り組みの様子に関することについての情報提供をいただきました。4 点目として、健康づくりの普及啓発として、運動への取り組みや喫煙（率）について意見が出されました。5 点目として、指標の達成目標についてです。達成という観点では、理想としての数字で、100%が望ましいのではないかと。国や県の目標値の設定との関連、現

実とかけ離れた目標の場合、どのようにとらえて設定していくかなどのご意見を頂戴しました。11月開催の健康づくり推進協議会后、ご意見を踏まえて各期において再度、見直し・評価・考察を行い、今後の方向性について部分的な修正をしました。その内容につきましては、委員の皆様のお手元にございます「第2次北杜市健康増進計画中間評価(案)」において、赤字にて追加・修正をしております。この度の第2次北杜市健康増進計画の内容につきましては、H29年からH33年までの後期5か年を見据えての方向性となっておりますので、概略的な様子を示してあります。頂戴しました具体的な取り組みのご意見につきましては、毎年度の「健康づくり推進協議会」におきまして実施状況について報告し、ご審議を頂く中に施策に反映させ、実行性のあるものにしていきたいと考えています。以上で経過報告を終わります。

【議長】 前回の第2回健康づくり推進協議会からの経過報告がありましたが、ご意見質問のある方は、いますか。

無いようでしたら次に進みますが、後ほど、あるようでしたら、まとめの前のところで受けたいと思いますのでよろしくお願ひします。次にライフステージ別の見直し内容について事務局からお願ひします。

【事務局】 子ども期について、皆さんにご意見をいただきながら、再度検討した項目について説明させていただきます。まず、資料の訂正をお願いいたします。5ページをお開きください。(2)達成状況①朝食を毎日食べる子どもの割合の、小3を横に見ていってください。数字を88.9、93.3、92.4に訂正をお願いします。次に中2を横に見ていってください。数字を87.1、88.9、87.3に訂正をお願いします。内容についてですが、学童期の朝食、野菜の摂取状況に関しては、①の朝食を食べる子どもの割合を山梨県新体力テスト、健康実態調査から北杜市の数値を挙げてあります。読みとして、朝食を毎日食べる子どもの割合は、小学3年生では策定時より増加しており、9割以上を推移しています。中学2年生では、9割弱で推移しています。また、小学3年生と中学2年生を比較すると中学2年生の方が、朝食摂取の割合が低いです。③の野菜摂取については、今後、学校保健委員会での資料などを参考に学校と課題を共有して、解決への取り組みを行っていきたくと思います。今後の方向性では、前回のご意見をいただき、方向性を少し具体化してみました。「午後9時前に寝る子どもの割合の増加」「野菜を毎日食べる子どもの割合の増加」「子育てに自信のない人の割合の減少」に関しては、保育園、小中学校、各種団体等と連携して重点的に取り組んでいきます。特に、小中学校との連携を強化し、情報の共有をしながら具体策を検討していきます。「子育てが楽しいと感じる」については、皆様からたくさんのご意見を伺いました。評価の指標が抽象的でなかなか数字で評価するのは難しいです。保護者の方の思いも・感じ方もそれぞれ違うので、今後、「相談者の有無」「子育てのいろいろ感の有無」「ゆったりした気持ちの時間の有無」「この地域で子育てをしたいか」などを追加して総合的に評価していきます。全体を通して、各事業において、乳幼児や家庭の生活習慣の改善を図るために、乳幼児健診の場を活用して専門スタ

ップによる相談等を実施していきたいと考えます。以上が、子ども期の変更点になりません。

【議長】 このあと、青年期から老年期へと続きます。まとめて意見を伺いますので、続けて青年期から老年期の説明を事務局よりお願いします。

【事務局】 今までの経過からの説明にありましたように、皆様からのご意見をもとに、青年期から老年期において再度見直し評価考察を行い、今後の方向性について、部分的に追加修正をしたところについて説明をさせていただきます。資料の11ページをご覧ください。前回の話し合いの中から出された食生活、特に減塩について、また健診受診後の保健指導につきまして青年期から取り組みをしていくということを再確認し、青年期の今後の方向性に、健診の事後指導等で適切な時期に食事指導を行うことと、組織との連携として食生活改善推進員とも連携を図りながら、地域全体で適正な食習慣になるような取り組みをしていきたいと思っております。また、運動等の健康づくりについて自然に取り組めるようなポイント制などの仕組みを検討していきたいと思っております。次に実年期について、12ページをご覧ください。受診率の達成状況につきまして、策定時の率は、国への報告の指標が統一された平成23年度からの受診率について差し替え、記載しました。受診率につきましては、特定健診のみは、対象年齢が決められていて40～74歳となっていますので、県の国保連で出された率になります。ほぼ横ばいで推移しています。次にがん検診ですが、大腸がん・肝がん検診以外は、策定時より低下しています。受診率の考え方につきまして、色々な方向から検討する必要があるとご指摘を頂きました。現時点で受診率を検討するための材料として年代別の受診率を算出してみました。別紙資料を参照してください。がん検診の受診率は、毎年国への報告に合わせて出しています。40歳以上が対象ということで、上限の年齢はなく高齢者の方も数に含まれていました。その中で年代を40～64歳の実年期と65歳以上の高齢期で分けて分析してみました。統計の関係で、平成23年度以降の数値になります。子宮頸がん検診のみ20～30歳代の受診率は平成25年度から記載をしています。すべてのがん検診において、40～64歳の受診率の方が高齢期より高くなっていますが、年々40歳からの方の受診率は下がり、高齢者は上がってきていることがわかります。これは、退職後ご自分の健康に関心もつ方が増えていることが考えられます。これについても今後分析が必要と考えています。受診率につきましては、前回の話し合いで、対象者の考え方について色々なご意見を頂きましたので、国への報告と別に市として対象者の出し方や考え方について検討をしたいと思っております。いずれにしても、多くの市民が検診を受けることで健康管理・病気の早期発見に役立てられるようにしていきたいと思っております。次にそれと関連して14ページをご覧ください。実年期の今後の方向性としまして、2つ目の※印ですが、すでに平成29年度の健診のご案内と受診状況調査を市内全世帯に送付し、記入したものを返送していただいているところです。平成29年度からは、特定健診に心電図・尿酸の検査項目を追加し、心疾患や腎臓病など生活習慣病の早期発見や生活習慣の見直しに役立てていきたいと思

います。次に、各町の受診状況を確認し、モデル地区を選定した中で各組織とも協働しながら受診率の改善に取り組みます。またデータヘルス計画の実施計画の中に示されている目標と連動する中で、40・50歳代の男性未受診者への未受診理由の分析をし、受診率の向上のための対策を検討していく予定です。高齢期につきましては、前回の会議でお示した内容での取り組みをしていく方向です。以上成人担当からの説明を終わります。

【議長】 子ども期から老年期までのライフステージ別に見直した内容につきまして、説明をしていただきました。冊子には、丁寧に見直し修正した箇所を赤字で記載してあり、わかりやすくよかったですと思います。では、内容につきまして、ご意見ご質問等ありましたら挙手をお願いします。

【委員】 資料の4ページ、達成状況の中で午後9時前に寝る子どもの割合や午前7時より前に起きる子どもの割合は、見てのとおりですが、この時間帯で気になることは、早く起きた子どもの生活習慣の状況など調べていくのはどうでしょうか。今後わかると良いかと思います。例えば、早く起きて何か家の手伝いをしているのか、それともテレビをだらだら見ているのかなど、余計なことかもしれませんが、その後も大事なかなと思いますので今後そんな調査が出来たらと思います。

【議長】 朝、早く起きた後、何をしていますかということですが、今回のアンケートの中では、時間についてとなっているので、そこまで細かくしてあるかどうかですが、いかがですか。

【事務局】 アンケートについては、時間についての把握になります。質問にありましたように早く起きて、何もしないよりも活動的に過ごせるようにすることも大切だと思いますので、また何か関わる手段で考えていけたらと思います。

【議長】 そのほかには、いかがですか。

【委員】 ちょっといいですか。アンケートの中身とは少し違うのですが、7年ほど前に子ども達の農家民泊を5件ほど受け入れたたことがあります。その時に朝起きて、子どもたちにほうきを持たせたのです。しかし、普段の生活の中で、たぶんしていないのでしょね。怪訝な顔をされました。朝起きて何かするというのは、家庭でのしつけといいですか習慣といいですか、これは極めて重要なことであると私は思っています。日頃から家庭でこういうことをしていると困らないでしょうし、実際の生活のリズムが、つかめてくるのではないかと思います。今、私が話をしているのは、地域活性化の農水省の事業が行われたことを話しており、アンケートには無いことなので、内容的には関係ないのですが、地域であれ、学校であれ、その大切さを発信する必要があるのではないかと思います。それから、8ページの健診受診率ですが、目標率に達成していないということで、やはり日頃から受けていることは大切で、何か働きかけがあればよいかと思いますが、以前は保健福祉推進員が勧めていたりもしていましたが、どこかで受けることは大切で重症になってからでは遅いと思いますので何かしら手段があればと思うのですが。

【委員】先ほどの生活リズムのところ、3歳児には、どのような生活をさせるかですが、大きい子になると何か仕事を与えて家族の一員であることを感じたり、手伝いをさせることは大事だと思います。3歳児には、9時に寝ること、早く起きて早く寝てのリズムの中で健康な生活をさせることが目的なので先ほどの内容のアンケートは、難しいかもしれません。ただし、5歳児はちょっと考えられるかなと思います。また、健診の受診ですが、がん検診など、なぜ受けないのだろうと疑問に感じます。自分は、受けなければという思いで受けています。3回も精検になりましたが、それでもきちんとその後、受けています。受けて何も無いことを確認して安心できます。なぜ、きちんと受けていけないのか疑問ですが、どのように働きかけをしていけば良いのが難しいなと思います。

【議長】病気をあまり身近なものとして認識していない人が多いのかもしれないですね。手遅れになった人が身近にいたり、健診を受けて早期に発見し、よかったというような体験があるとやっぱり受けてみようかなと思うかもしれないですが、なんといいいますか、私は、大丈夫というような根拠のない自信があるのかもしれないですね。例えば運転免許の更新に行くと交通事故の場面をビデオで見られる機会もありますが、それと同時に病気に対して早く発見できると治るし、手遅れになると大変なことになる、怖いという意識を植え付けるような機会があるとよいのですが。ご褒美や罰則があると健診を受けるかもしれませんがそういう訳にもいきませんので、やはり健康が一番大切で、お金よりも遊ぶことよりも大切だと言うことがわかるのは、もう少し年をとってからになるのでしょうか。それをきちんとわかるようにするには、子どもの頃からで、大人になってタバコは吸わないとか、夜遅くまで食べないなどきちんと理解をさせていくことが大切なのだという印象を受けます。皆さん、他にいかがでしょうか。では、無いようですので事務局より、まとめをお願いします。

【事務局】たくさんのご意見をありがとうございました。具体的なお意見を頂戴し、今後の事業の中で意見を踏まえて、反映させていけたらと考えています。市民を取り巻く生活状況やライフスタイルの変化により、健康課題も多様化していくと考えられます。そのような中で、大きく目標を達成していくことは、容易ではないかもしれませんが、北杜市民の皆さんが、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために、「気づき築く健康ほくとみんなで支える健康づくり」を目指して、個人・家族・地域・行政が一体となって取り組むことにより、残り5年間の中で着実に成果を上げていけるよう各分野において、健康づくり施策を総合的・計画的に展開していく必要があります。今後は、毎年度開催されます健康づくり推進協議会において、保健事業の実施状況について報告し、委員の皆様よりご意見を頂戴し、施策に反映させていきたいと考えております。この度、案として委員の皆様にご審議いただきました第2次健康増進計画中間評価をホームページに掲載すると共に地域において健康づくりの推進役として活動していただいています保健福祉推進員の皆様と共有し、中間評価を基に健康づくりを図っていきたいと考えています。

【議長】ありがとうございました。それでは、第2次健康増進計画中間票評価（案）については、区切りとします。続きまして資料No.2の子宮頸がん検診について事務局よりお願いします。

(2) 子宮頸がん検診について

【事務局】子宮頸がん検診について説明をさせていただきます。資料No.2をご覧ください。子宮頸がんの罹患率は、全国の統計では、20～24歳から増え始め、40～44歳でピークを迎えその後、高齢期まで横ばいの状況と推計されています。北杜市では罹患率の統計は難しいのですが、死亡者数を見ますと、H22～27年の6年間で9名の方が子宮がんで亡くなっています。年代は40歳代が3人、60歳代が4人、70歳代1人、80歳代2人となっています。1人でも子宮がんで亡くなる人を減らすことを目的に、子宮頸がん検診を行っています。方法として、市内8ヶ所を巡回して山梨県産婦人科医会から検診のバスを派遣していただき産婦人科の医師が日替わりで対応をしていただいているものです。日程は市が指定した日時での受診になります。検診内容は、子宮頸部細胞診のみになります。施設検診は、県内の産婦人科医院と長野県の富士見高原病院に委託をしています。個人的に外来受診をしてもらうことで検診ができるので、年間通してご自分の都合の良い時に受診ができます。検診内容は、子宮頸がん検診に加え内診でがんになる前段階の病変やその他の疾患の早期発見ができます。また医師による問診もあるので、日頃気になる症状等があれば相談できることから車検診より施設検診の受診が推奨されます。

本年度は、車検診受診者に対し施設検診へのお勧めを行うとともにニーズ把握のアンケートを実施しました。内容は、車検診受診の方で、車検診がなくなっても施設検診を受けると回答した方は75%でした。車検診を希望した理由として、予約する手間がかからないこと、近くに病院がないことが上位を占めました。今後、これらの事も含めまして、車検診につきましては、子宮頸がん検診について、不安なく検診ができるように配慮しながら施設検診への移行についてPRをし、平成30年度にはすべて施設検診へ移行をしたいと考えています。施設検診につきましては、今年の4月から甲陽病院も受診可能となり、身近の医療機関で本人の都合の良い時期に受けられるようになると思います。検診と同時進行で健康教育として、今年度は子宮頸がん検診PRとしての「いのちのコール」という映画を市内2か所と、つどいの広場に出向きそこに参加しているお母さん方にも鑑賞をしていただきました。また、産婦人科医の森澤医師による講演会も開催したところです。子宮頸がん検診の年齢の上限はありませんが、最近ではHPV（ヒトパピローマウイルス）というウイルスの感染が原因と言われている中で、日本産婦人科医会では、過去3回以上連続細胞診で陰性であった65歳以上の方は、細胞診とHPV感染をしているかの検査を合わせて行い、どちらも陰性でしたら子宮頸がん検診は終了してもよいと言われています。（ウイルス検査は自費で5,000円から8,000円）子宮頸がんの原

因や検診内容も含め、市民への周知を図りながら、特に表のとおり、車検診は、受けるが施設検診を希望しない方々への受診勧奨について方法や内容をわかりやすくPRをしていきたいと思います。今後も、20～30歳代も含め若い女性への受診勧奨に力を入れていきたいと思います。

【議長】 ありがとうございます。かなり細かく踏み込んで子宮頸がん検診の話がされましたが質問などありますか。

【委員】 私も今年度受けてきました。HPVですが、5,000円検査費用がかかります。HPV検査は、受けたくても受けられないこともありますね。有料の場合、1,000円くらいなら良いかなとも思うのですが、何回もとなると厳しいかなと思います。

【議長】 HPVについては少し、話題性が下がってきています。検診を受けなければ駄目なのですが7～8年前にワクチンも併用ということで、かなりの方が接種しています。

原因不明の痛みやその他の症状で苦しんでいる人が出てきているということもあります。世界中で行われていた予防接種で効果が良いといわれていました。HPV全てががんの原因でなくそれ以外のものもある。胃がんのピロリ菌にしてもそうですが、ほとんどはピロリ菌といわれていますが、それ以外の原因もあるということで検診も必要です。HPVにしても同様です。予防接種を受けてこれで全て大丈夫ではありません。予防接種を受けて大丈夫と思いつむのは大変危険です。安心することなく検診を受けることが大切です。子宮頸がんの検診については、その必要性も含めて、先ほど委員の方からありましたように検診を受けるけれども金額があまり大きいと負担になってしまいます。女性の健康という点で、検診も含めて行政の方では、どのように考えていますか。

【事務局】 HPVの検査費用については、こちらでも調べてみました。金額の幅は広く、5,000円というところから8,000円かかるところもありました。そのあたりについては、市民の方に情報として伝える中で選択していただく、施設検診が自己負担金1回に1,030円なので、5年間で5,000円以上になる。それと比較してということではありませんが、先ほどの話しの中でもありましたようにHPVが子宮頸がんの原因全てではないことなどから、検診の必要性があることを含めて、市民に情報提供をしていきたいと考えています。

【議長】 ありがとうございます。よろしいでしょうか。では、子宮頸がんについてはこれで終わります。続いて、その他です。3つほどありますが事務局の方よりお願いします。

(3) その他

【事務局】 資料No.3、北杜市保健センターリニューアルについて説明します。第1回の健康づくり推進協議会の時、健康増進課の今後の体制について説明をさせていただいたところです。今年度、保健センターの改修工事を行いました。平成29年4月から北杜市保健センターがリニューアルオープンします。《組織体制の変更》を一緒にご覧ください。

保健センターには、現在、健康増進課、保健指導担当で実施している「母子保健に関する業務」母子保健・小児保健と子育て支援課で実施しているつどいの広場、ファミサポなど「子育て支援・少子化対策業務」を一緒に行い、妊娠・出産・子育て期に渡り子育てを応援する《ほくとっこ元気課》を新設します。

では具体的にどのようなことをどこの場所で行うかと申しますと保健センターの図面をご覧ください。①が事務所となります。ほくとっこ元気課子ども支援担当となります。

保健師・助産師・栄養士・保育士・事務職が常駐し、相談業務（不妊治療、出産、育児、ひとり親、DV等）、妊産婦、乳幼児の栄養相談・指導、母子健康手帳の交付、乳幼児健診（4か月・7か月・12か月・1歳6か月・2歳児・3歳児）、各種教室（パパ・ママ学級・ベビーマッサージ教室・セルフケア教室）、補助金の申請、受付（出産祝金、チャイルドシート、不妊治療等）、北杜市母子愛育会・子育てサークル・防災ママ育成支援、②ではつどいの広場（はっぴいたんたん）を行います。月曜から土曜日まで10時～3時で、現在、高根東小放課後児童クラブで行っており、平成29年4月1日（土）に移転します。毎週土曜日にも開所します。③長坂総合支所で行っている「出会いサポートセンター」も保健センターに移ります。④以前プールだったところを改修し、妊娠・出産包括支援事業で助産師が行う事業（ベビーマッサージ教室・セルフケア教室）を行います。保健センターについては、母子関係のみでなく、青年期から高齢期までをとらえた幅広い年齢層の市民の方の健康づくりの拠点でもあります。また、市民の方の寄附で購入した体組成計（体脂肪率・筋肉量が測定できる）や自動血圧計も設置しました。今後も保健センターを健康づくりの為に施設として、乳児から高齢者まで幅広い年齢層の方に、積極的にご利用して頂きたいと思っております。また、母子保健事業についてですが、現在は、健康増進課に母子保健があり健康づくり推進協議会で協議させていただいています。今後、福祉部に移行していきますが市民の行動計画については、引き続き推進協議会の中で協議をしていただくことになろうかと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。以上で私の説明を終わらせていただきます。

【議長】 組織編制について説明がありました。何か質問がありますか。で無いようですので、次の自殺予防講演会についてお願いします。

【事務局】 資料 No.4 をご覧いただきまして、加えて、いいことチャレンジ健康ほくとを併せて説明させていただいてもよろしいか伺います。

【議長】 はい。一緒をお願いします。

【事務局】 それでは、お知らせと報告をさせていただきます。まず、お知らせですが、資料 No.4 です。自殺について社会の問題ということをも市民の皆様にご存知いただくために平成29年2月9日木曜日、須玉ふれあい館において午後1時30分より北杜市自殺予防講演会を開催します。こちらでは、身近なところで山梨県や市の状況を把握されています山梨県中北保健福祉事務所峡北支所・地域保健課長の篠原正之様をお招きし、ご講演をいただきます。既に地域の皆様には、回覧などでもご案内していますが委員の皆様にも

おかれましては、ぜひ折に触れご紹介いただくと共にご参加をいただけたらと思います。よろしく願いいたします。次に報告になります。資料No.5、H28 いいことチャレンジ健康ほくと集計結果の資料をご覧ください。こちらの取り組みについては、既に2年間実施しています。毎年9月に自分の健康は自分で作るということを目的として、年1回は、どんなに忙しい方でも自分の健康に目を向けて取り組みましょうというものです。日頃から実施している方は良いのですが、なかなか自分の健康に目を向けていない方が、どんなことでも良いです、食事・休養・歯磨き・運動・体重測定・血圧測定など個人、家族、グループで取り組んでいただきたいということで回覧や保健福祉推進員と協働してPRをし、取り組んでいます。結果については資料に記載してあります。報告内容については、推進協議会の委員の皆様へ報告させていただいた後、ホームページに掲載すると共に保健福祉推進員の皆様と共有し、今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。以上です。

【議長】 質問・ご意見のある方はいますか。その他での項目以外でもかまいませんのでいかがですか。

【委員】 直接今日の内容には関係ないこととなります。本日の新聞にも掲載されていますが、白州町で開催された、スポーツ推進員の方が保育園児を対象に体力測定を実施しています。どのような分け方をしているのか、今後は市内の保育園児・幼稚園児に普及していくのか市の方向性を伺いたいのですが。

【事務局】 申し訳ありません、ご質問の内容につきまして他課の様子を把握できていません。確認して報告させていただいた方がよろしいでしょうか。

【委員】 後日、機会がありましたら今後もそのような継続があるのか教えていただきたいと思えます。健康づくりにも関連してくると思うので。

【事務局】 確認して報告します。また、この件に限らず、他課の様子で皆様に報告した方が良い内容については、今後行っていきたいと思えます。

【議長】 いいことをしているようなので、このような機会に話があると横のつながりとしても良いと思えますのでよろしくお願いいたします。その他にどうですか。

【事務局】 私の方より1点お願いします。具体的にはまだなのですが、市長からの公約に公設アカデミーの構想があり、子育て支援課や教育委員会を含めての取り組みになろうかと思えますので、ご承知いただければと思えます。

【議長】 他にありますでしょうか。よろしいですか。かなり盛りだくさんの内容でしたが資料もまとめてあったので混乱することなく、頭に入ったのではないのでしょうか。

以上で議事を終了します。

閉会の言葉

【副会長】 長時間にわたってご苦勞様でした。総合健診をこんなに受けていないのかと思えました。愛育会でも多くのお母さん方・お父さん方に健診を受けていただきたいと託

児をしています。まだ、明野町・小淵沢町・白州町には、愛育会が無いのですが託児という形で援助しているので多くの方に受けてほしいと思います。今、白州の園児の体力測定の話がありました、昨日と今日の新聞の中に、北杜市に関連する記事や本日の議事に関係することが載っていましたので少し紹介します。1 つ目は、増富温泉の効能実証で小林さんの名前が出ており、内容は、健康科学大学との連携で行うということです。2 つ目は、検診に関する事で、子宮体がんの映像診断が行われるということが載っています。3 つ目は、写真家で高根町にお住まいの方が本を出版したことです。この方の本は、小さい子どものみでなく大人も読んでも良いのかと思いました。加えて体の健康もちろん大事ですが先ほど心の健康の話もありましたように自殺予防についてもみんなが進めながら、行っていかなければならないとも思いました。そのようなことを思いながら今日の会を閉じたいと思います。

—午後 5 時 30 分閉会—

署名録委員 氏名

氏名